

競 技 注 意 事 項

1. 競技規則について

本大会は、2014年日本陸上競技連盟規則及び本大会申し合わせ事項によって行う。

2. 競技方法について

(1) 男女別学校対校とする。

(2) 男女別の学校得点によって順位を決定する。種目得点は、1位8点…8位1点とする。なお、混成競技についての得点は総合成績のみに入れる。

3. 練習について

練習は、補助競技場または雨天練習場を使用する。ただし、投てき練習は禁止する。

※補助競技場の使用については、下記の事項を十分留意し練習を行うこと。

5月31日(土)は、フィールド内で男子ハンマー投と男女円盤投の競技を実施するため、フィールド内及び第1コーナーから第3コーナーまでのトラックでの練習を厳禁する。

当日は、審判員の指示を良く聞き、練習を行うこと。

※本競技場での練習は、以下の時間帯で行うことができる。

5月30日(金) 7:30~8:30

5月31日(土) 7:30~8:45

6月1日(日) 7:30~8:45

4. 招集について

(1) 招集所は、第4コーナー外側に設ける。

(2) 各種目の招集開始・完了時刻は、競技日程欄に記載されている。

(3) 招集の手順

① 招集開始時刻に競技者係の点呼を受ける。同時にトラック種目出場者は腰ナンバーカードを受け取り指示された場所につけること。同時にナンバーカード・スパイク等の確認を受ける。

② 点呼の代理は認めない。招集完了時刻に遅れた者は、棄権したものとして処理する。

③ 2種目同時に兼ねて出場する競技者は、事前に本人がプログラム添付の「2種目同時出場届」に必要事項を記入し、第1種目の点呼時に競技者係に提出すること。その場合に限り、代理人の点呼の認める。

(4) リレー種目について

① リレーのオーダー用紙は、各ラウンドの招集完了時刻1時間前までに競技者係に提出すること。オーダー用紙はプログラム添付の用紙を使用すること。

② 点呼は、4人全員で受けること。(他種目に出場し、届出完了の場合は他のメンバーのみで可)

(5) 混成競技について

招集は、第1種目(男子100m 女子100mH)は招集所にて指定された時刻に行う。それ以降の種目からは現地招集とする。(競技開始の15分前に集合すること。)

(6) 事前に棄権の種目がある場合は招集開始時刻までにプログラム添付の「棄権届」に必要事項を記入し競技者係に提出すること。

(7) 招集所から競技場所へ行く場合は、競技者係の指示に従うこと。

5. 競技進行について

(1) 番組編成及び競技の抽選について

① トラック種目の予選におけるレーン、跳躍・投てき種目の試技順はすべてプログラム記載の順番とする。準決勝以降の組み合わせは、すべて番組編成員が行い、記録掲示版付近及び招集所で発表する。

② トラック競技における次のラウンドへ進出する際、その最下位で同タイム(1/100単位)が出た場合下記の方法によって進出者を決定する。

・空きレーンがある場合 同タイム者の進出を認める。

・空きレーンがない場合 写真を拡大して精査し優劣の判定をする。

(それでも決められない場合は本人または代理人により抽選する)

・オープンレーンを使用する種目は同タイムの競技者全員の進出を認める。

(2) 競技全般について

① 競技役員・補助員及び当該種目出場者以外は競技エリアに立ち入ることができない。また、競技者の本部前の通行を厳禁する。

② 短距離種目では競技者の安全確保のため、フィニッシュライン通過後も自分のレーン(曲走路)を走ることを禁ずる。

③ スパイクピンは11本以内とし、9mmを超えてはならない。ただし、走高跳・やり投については12mm以下とする。

④ ナンバーカードはユニフォームの胸部と背部につけること。ただし、跳躍競技に出場する競技者は胸部または背部だけでもよい。

⑤ 女子3000mはグループスタートで行う。

(3) 跳躍競技について

① 走高跳・棒高跳のバーのあげ方は下記のとおりとするが、状況に応じて変更する場合はあるので審判員の指示をよく聞くこと。

男子 走高跳 160(練) - 165 - 170 - 175 - 178 - 181 - 184 - 187 - 190

女子 走高跳 130(練) - 135 - 140 - 145 - 148 - 151 - 154 - 157 - 160

棒 高 跳 250(練) - 260 - 280 - 300 - 320 - 340 - 360 - 380 - 400

(混)男子走高跳 127(練)－130－133－136－ 以降3cmずつ

(混)女子走高跳 117(練)－120－123－126－ 以降3cmずつ

*同記録による1位決定と近畿大会出場権決定のバーの上げ下げは、走高跳2cm、棒高跳5cmとする。

②男子走幅跳の予選通過記録は、6m00とする。

③三段跳の踏み切りは12m00とする。

④走幅跳及び三段跳は、すべてバックストレート側のピットで行う。

(4)投てき競技について

①男子砲丸投の予選通過記録は、10m00とする。

②他の種目は下記の計測ラインを設定し、計測ラインを超えないものはペグ等を用い、最高記録のみ計測する。(計測ラインを超えた有効試技はすべて計測する。)

男子円盤投	28m00	女子砲丸投	8m00
-------	-------	-------	------

男子ハンマー投	35m00	女子円盤投	25m00
---------	-------	-------	-------

男子やり投	45m00	女子やり投	26m00
-------	-------	-------	-------

6. 競技用具について

(1)棒高跳のポール及びやり以外の競技用具は、競技場備え付けのものを使用すること。

(2)やりの検査は、競技開始の80分前より60分前までに、第2ゲート横用器具庫で行う。

7. 表彰について

(1)各種目3位までの入賞者を表彰する。成績発表後直ちに受賞者席(正面玄関エントランス)に集合すること。

(2)表彰式では以下の表彰を行う。

- ・男女別優勝校には県高体連陸上競技部より、優勝盾を授与する。

- ・男女別総合・トラック競技・フィールド競技各3位までの入賞校に賞状を授与する。

- ・男女優秀選手各1名に最優秀盾を授与する。

- ・男女別優勝校に顧問表彰をする。

8. 近畿地区予選会の出場について

各競技6位まで(ただし、混成競技と競歩は4位まで、走高跳と棒高跳は6位・6名まで)入賞した選手は、近畿地区予選会(京都・西京極)の出場権を得る。ただし、やむを得ずを欠場する者、県外の大会、記録会等で今季自己最高記録を出した者及びリレー種目の登録メンバーについては、本大会終了までに顧問が本部情報処理室まで申し出ること。

9. その他

(1)競技場の開門は3日間とも7時30分とする。

(2)記録は、玄関ホール前に掲示板を設置し掲示する。

(3)場所取り、テントの設営、横断幕・のぼり等の設置について

場所取りについては、5月30日(金)7:30以降とし、それ以前に場所取りをしてはいけない。

○メインスタンド

- ・メインスタンド及びサイドスタンド(メインスタンドの両サイド)へは、横断幕・のぼり・テントなどの設置を厳禁する。

○サイド芝生席

- ・横断幕は手前フェンス及び後方フェンスへ設置してもよいが、のぼりは後方の手すりのみとする。また、テントは設置してもよい。

○バックスタンド(芝生席を含む)

- ・横断幕のみ手前のフェンスに設置してもよい。また、中段より上の手すりに横断幕を設置する場合は通路をふさぐようなことのないよう十分注意すること。

- ・のぼりについては、バックスタンドは最上段フェンスのみ設置してもよい。

- ・バックストレートの走幅跳・三段跳ピット外の芝生席は、場所取りおよびテント設置はできない。中段より上のスタンドにはテントを設置してもよいが、通路をふさぐことのないよう十分注意すること。

(4)応援はスタンドで行い、集団での連呼応援は、自粛すること。

(5)競技中における事故・負傷については応急措置のみを行う。

(6)各チーム(学校)の控え場所及びスタンドの清掃は、監督・顧問・キャプテンの指示により確実にを行い、各学校で出たごみは、確実に持ち帰ること。

また、次の割り当てにて競技終了後の清掃を行う。

5月30日(金)	有田以南の各校
----------	---------

5月31日(土)	紀北地区の各校
----------	---------

6月1日(日)	和歌山市・海南地区の各校
---------	--------------

(7)競技場内に携帯電話等の通信機器を持ち込まないこと。

(8)貴重品・荷物類は各自で管理し、盗難等十分注意すること。

(9)通行禁止・使用禁止の掲示のある場合は、遵守すること。